

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- アルドステロン／レニン活性比 項目コード：5784
- アルドステロン／レニン定量比 項目コード：5785

受託開始日

平成 23 年 3 月 1 日（火）受付分より新規受託開始

※ 裏面の受託要項 備考欄を十分にご確認の上、ご依頼ください。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社／横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社／名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

い かが く 小 田 原 衛 検
新潟臨床検査センター カスタムメディカル研究所
保健科学東日本 ケーアイエー細胞病理研究所
日本ノーバメディカル研究所 日本厚生団衛生科学研究所
組織科学研究所 相模医研
遠州予防医学研究所 湘南医化学検査センター
東部メディカルセンター

新規受託項目

項目コード	検査項目	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
5784	アルドステロン／レニン活性比 (PAC/PRA比)	計算法 アルドステロン：RIA法 レニン活性：RIA法	200以下	2 5 4	-	※1
5785	アルドステロン／レニン定量比 (PAC/PRC比)	計算法 アルドステロン：RIA法 レニン定量：RIA法	40以下	2 5 7	-	※2

検査場所：保健科学研究所 第2ラボラトリー(*ア)

※1 アルドステロン／レニン活性比のみのご依頼は出来ません。
【5024】アルドステロン、【5025】レニン活性も同時にご依頼下さい。

※2 アルドステロン／レニン定量比のみのご依頼は出来ません。
【5024】アルドステロン、【5367】レニン定量も同時にご依頼下さい。

▼ 臨床的意義

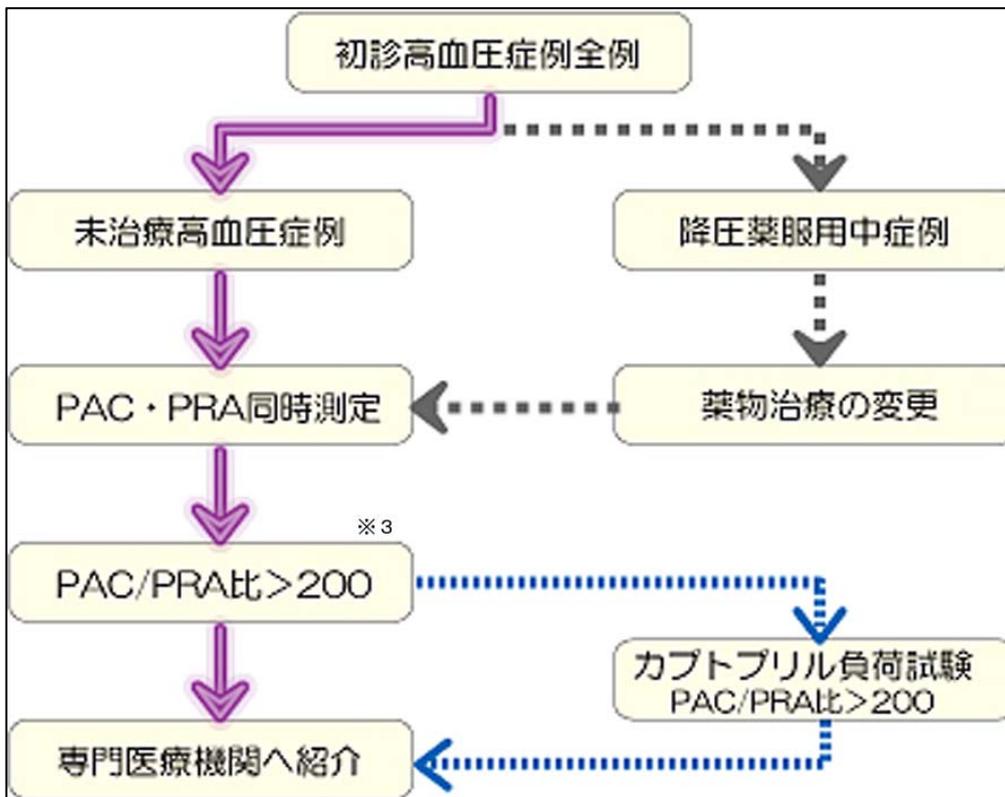
本検査は、原発性アルドステロン症のスクリーニング検査です。

原発性アルドステロン症 (PA) は、過剰なアルドステロンにより高血圧、レニン分泌の抑制、低K血症、低Mg血症、代謝性アルカローシスなどを呈する疾患で、従来は稀な疾患とされていましたが、高血圧患者の約3～10%を占めるとの報告があります。

本検査項目は、高血圧治療ガイドライン2009においてスクリーニング検査として記載されております。

尚、本項目は、採血時刻、体位、降圧薬により影響されるため、標準的条件(未治療、早朝から午前9時、空腹、約30分の安静臥床後)での採血が望まれます。

〔 原発性アルドステロン症診断の手引き 〕



※3 アルドステロン／レニン活性比(PAC/PRA比)の場合は、『>200』で判定し、アルドステロン／レニン定量比(PAC/PRC比)の場合には、『>40』で判定する。

日本内分泌学会HPより(一部改変) http://square.umin.ac.jp/endocrine/rinsho_juyo

▼ 臨床的意義参考文献

高血圧治療ガイドライン2009: 103～105, 2009.